

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立川上小学校（熊本県）

【取組内容④】 対話的・協働的な職員研修の在り方への変革

これまでの授業研究会は・・・

授業者自評→質疑→協議→まとめ・助言のような流れ
本時の奨励点や改善点などについて小グループ・パネルディスカッション・全体等で協議

ここに
課題!

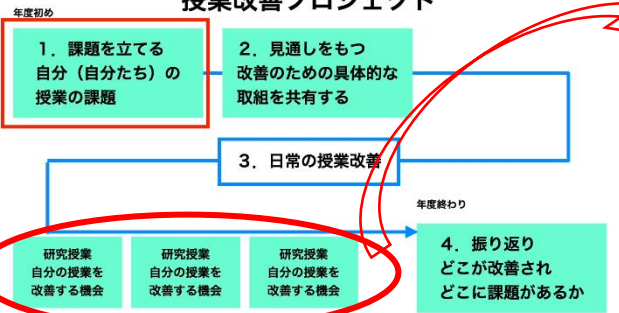
- 本時や当該単元についての協議にとどまっている
- 学年や教科によっては、同じ単元や本時の授業をすることがない先生もいる
- 限られた時間の中で全員の意見を取り上げられない



授業の課題を**自分事**としてとらえ、研究授業を通してすべての職員の課題解決につながる授業研究会の工夫を!

今年度の校内研修では・・・

授業改善プロジェクト



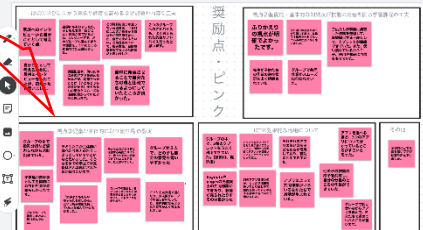
年度の初めに、自分の授業の課題をそれぞれが設定しました。教科ごとのチームにわかれ、解決のための手立てを考えて見直しをもちました。

【研究授業】

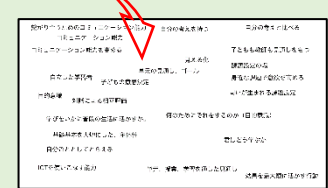
〈リフレクションを促す授業研究会〉

1. 授業者自評【5分】
2. タブレットでJamBoard記入【10分】
(奨励点:ピンク、改善点・疑問点:水色)
3. 司会による整理→全体に共有【5分】
4. 対話による改善のアイデア【10分】
5. 改善のアイデアを全体に共有【10分】
6. 対話による授業ポイントの概念化【5分】
7. 講師による抽象度の調整【5分】
8. 概念化された言葉をスライドに記入【10分】
9. 対話による自分の授業の改善点【10分】
10. 全体のまとめ【10分】
11. 1人1人の学びを話し合う【10分】

Google JamBoardを活用し、奨励点・改善点・疑問点を集約



Googleスライドで概念化の共有→自分の課題に生かす



授業研究改革

研修の様子や取組の詳細については、こちらから動画をご覧ください!

<https://youtu.be/-B1iRiCOVp8>